

作成日： 2023年6月28日

改定日：

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
供給者の会社名称, 住所及び電話番号

レナガス カラープライマー

【会社名】

株式会社ヤマチコーポレーション

【住所】

北海道札幌市北1条西10丁目1-17

【電話番号】

011-261-9911

供給者のファクシミリ番号又は
電子メールアドレス

【FAX番号】

011-261-9922

緊急連絡電話番号
推奨用途

011-261-9911

塗料

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

【健康に対する有害性】

皮膚腐食性/刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分2

皮膚感作性

区分に該当しない

呼吸器感作性

区分に該当しない

生殖細胞変異原性

区分に該当しない

発がん性

区分に該当しない

生殖毒性

区分1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分2(視覚器、全身毒性、中枢神経系)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分2(視覚器、中枢神経系)

吸引性呼吸器有害性

区分に該当しない

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期(急性)

区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

強い目刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ(視覚器、全身毒性、中枢神経系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(視覚器、中枢神経系)

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師に連絡すること。診察/手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断を受けること

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
に業務委託すること。

GHS分類区分に該当しない他の危険有害性

GHS分類区分に該当しない他の危険有害性

区分1/1Bの皮膚感作性物質が0.2%未満存在する。

当社判定基準によるナノマテリアル(シリカ(非晶質))を0.1%未満含有する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
一般名

混合物
アクリル樹脂系仕上塗材

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号		CAS番号
		(化審法)	(安衛法)	
		化審法番号	安衛法番号	
石灰石	20~40	-	-	1317-65-3
水	20~40	-	-	-
アクリル樹脂	8~15	非公開	非公開	非公開
酸化チタン(IV)	5~15			
可塑剤	0~2	非公開	非公開	非公開
グリオキザール付加 ヒドロキシエチルセルロース	0~1	8-578	公表	68957-96-0 71888-87-4
鉱油	0~0.2	既存	既存	-
メタノール	0~0.1	(2)-201	既存	67-56-1
有機窒素硫黄系化合物	非公開	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を流水やシャワーで速やかに洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

医師の診断/手当てを受ける。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
直ちに医師の診断/手当てを受ける

応急措置をする者の保護

汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋等の適切な保護具を使用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

特になし

火災危険性

火災によって、刺激性、有毒ガスが発生する恐れがある。

特有の消化方法

初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には、水溶性液体用泡消火薬剤等を用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移す。消化のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の

特別な保護具及び予防措置

消火活動は可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。
消火活動では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。こぼれた場所は滑りやすいために注意する。多量の場合、人を安全に退避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合に盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

河川等に流出した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

【技術的対策】

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い保護具を着用する。

【安全取扱注意事項】

接触、吸入又は飲み込まないこと。
保護手袋などの適切な保護具を着用する。
作業場の換気を十分に行う。
スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【接触回避】

知見なし

【衛生対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【局所排気・全体換気】

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

保管

【安全な保管条件】

凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管し、保管時の温度が5℃以下及び40℃以上とならないようにする。
使用後は皮張り、腐敗防止のために、密封して貯蔵する。

【安全な容器包装材料】

大量に保管する場合は、消防法の技術上の基準に従う。
国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

メタノール(67-56-1)	
日本-ばく露限界値(JCDB)	
管理濃度	200ppm
日本産業衛生学会	200ppm(260mg/m ³)(皮)
ACGIH	TWA 200ppm,STEL 250 ppm(Skin)
酸化チタン(IV)	
管理濃度	4mg/m ³
ACGIH TWA ppm	10mg/m ³
石灰石	
管理濃度	3mg/m ³ (鉱物粉塵)
日本産業衛生学会勧告値	吸入性粉塵 2mg/m ³ 、総粉塵 8mg/m ³ (第3種粉塵)
ACGIH TWA ppm	吸入性粉塵 3mg/m ³ 、総粉塵 10mg/m ³ (一般粉塵)

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近く、眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること

保護具

【呼吸用保護具】

状況に応じ、防塵マスク、防毒マスクを着用する。

【手の保護具】

状況に応じ適切な保護手袋を着用すること。

【眼、顔面の保護具】

状況に応じ適切な眼の保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。

【皮膚及び身体の保護具】

状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ペースト状
色	白色
臭い	微臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水で希釈可能
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の取り扱い条件においては安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	5°C以下の低温及び40以上の高温
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

製品の有害性情報	データなし
----------	-------

成分の有害性情報

急性毒性(経口)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(経口)	ラット LD50 > 3200mg/kg(SIDS), 6517mg/kg(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
急性毒性(経口)	ラット LD50 6.2~13g/kg(ACGIH), 6200mg/kg, 9100mg/kg(SIDS)、ヒト LD0.3~1g/kg(SIDS)、ヒト LD50 1400mg/kg(DFGMAK)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
急性毒性(経口)	ラット LD50 8700 mg/kg 以上 (J. Am. Pharm.Assoc.Sei.,Ed.36,335-6(1947))
有機窒素硫黄系化合物	
急性毒性(経口)	♂マウス LD50 1500 mg/kg (推定値)

急性毒性(経皮)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(経皮)	ウサギ LD50 > 15.2g/kg(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
急性毒性(経皮)	ウサギ LD50 15800mg/kg (DFGMAK), サル LD1600~4000mg/kg(SIDS)

急性毒性(吸入:蒸気・ミスト)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(吸入:ミスト)	ラット LC50(6hr) ≥ 3.55mg/L(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
急性毒性(吸入:蒸気)	ラット LC50(8hr) > 22500ppm(DFGMAK)、サル LC(14hr) ≥ 52mg/L、LC(18hr) ≥ 13mg/L(SIDS)

皮膚腐食性/皮膚刺激性

可塑剤(非公開)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	モルモット 皮膚刺激性試験 軽度の刺激性(軽度～中等度の紅斑)(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ 皮膚刺激性試験(20時間) 刺激性なし(DFGMAK) ウサギ 皮膚刺激性試験(24時間) 中程度の刺激性(脱脂の影響)(DFGMAK)
有機窒素硫黄系化合物	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	P.II.(一次刺激性インデックス): 5.5

眼に対する重篤な損傷性/目刺激性

可塑剤(非公開)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 眼刺激性試験 軽度～中等度の刺激性(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 目刺激性試験(ドレイズ試験) 結膜炎や結膜浮腫(7日以内の回復は不明)(EHC) ウサギ 目刺激性試験 中程度の刺激性(EHC)
酸化チタン(IV)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	目刺激性を有する物質を含む
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 軽微の刺激性(原材料メーカー調査)
有機窒素硫黄系化合物	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	>0.5%液で刺激性あり。(家兎)(推定)

皮膚感作性

可塑剤(非公開)	
皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性試験 陰性(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性試験 感作性なし(EHC) ヒトパッチテスト 陽性(メタノールによる感作性とは結論できない)(DFGMAK)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
皮膚感作性	ウサギ 感作性なし(原材料メーカー調査)
有機窒素硫黄系化合物	
皮膚感作性	皮膚感作性を有する物質を含む

生殖細胞変異原性

可塑剤(非公開)	
生殖細胞変異原性	マウス in vivo小核試験(経口投与) 陰性(SIDS、IUCLID) サルモネラ菌 エームス試験 陰性(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
生殖細胞変異原性	マウス 染色体異常試験/姉妹染色分換試験/小核試験(吸入暴露) 陰性(DFGMAK) マウス 小核試験(腹腔内投与) 陰性(DFGMAK) サルモネラ菌/大腸菌 エームス試験 陰性(DFGMAK)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
生殖細胞変異原性	Amesテスト 陰性(原材料メーカー調査)
有機窒素硫黄系化合物	
生殖細胞変異原性	エームス試験 陽性(推定)

発がん性

メタノール(67-56-1)	
発がん性	ラット 飲水投与試験 500～20000ppmv/v:頭部と頸部のがん 血液リンパ網内系腫瘍(ACGIH) ラット/マウス/サル 18または24か月間吸入暴露試験 1000ppmまで:発がん性なし(ACGIH)

生殖毒性

可塑剤(非公開)	
生殖毒性	ラット 反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(経口投与) 生殖・発生に異常なし NOEL=1000mg/kg/day(SIDS、IUCLID)
メタノール(67-56-1)	
生殖毒性	器官形成期の妊娠マウス 吸入暴露試験 6500mg/m ³ 以上: 児で胎児吸収や脳脱出、胎児の奇形(神経および眼の異常、口蓋裂、水腎症と四肢の異常)(EHC) 妊娠7~15日間のラット 吸入暴露試験 26000mg/m ³ : 胎児で奇形(過剰または痕跡状頸肋と泌尿器または心血管の異常) NOAEL=6500mg/m ³ (EHC)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

可塑剤(非公開)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット 吸入急性毒性試験 呼吸器刺激(RTECS)
メタノール(67-56-1)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒト 急性中毒症状 中枢神経系抑制、代謝性アシドーシス、視覚障害、失明、頭痛、嘔吐、頻呼吸、昏睡など、時に死亡(EHC) 中枢神経系の障害、脳白質の壊死(EHC) マウス/ラット 吸入暴露試験 麻酔作用(EHC)
酸化チタン(IV)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性を含む物質を含む。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

可塑剤(非公開)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラット 簡易生殖毒性試験(雄:51日間、雌:40~51日間経口投与) 肝臓重量の増加、肝細胞の肥大(代謝活性の亢進による) NOAEL=1000mg/kg·bw(SIDS) ラット 15日間経口投与試験 雄で腎臓の硝子滴、雌で肝臓重量の増加 NOEL=100mg/kg·bw(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒト 長期暴露 低濃度: 広範な眼の障害(EHC) 職業暴露による慢性毒性影響 失明(ACGIH) 慢性中毒患者(蒸気暴露) 結膜炎、頭痛、眩暈、不眠症、胃の障害、両眼の失明(ACGIH) ラット 経口投与試験 肝細胞肥大等(PATY)

12. 環境影響情報

製品の環境影響性情報

生態毒性

水性環境有害性 短期(急性) 分類できない(データ不足)

水性環境有害性 長期(慢性) 分類できない(データ不足)

他の有害影響

レナガスカラープライマー	
他の有害影響	河川等に流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘着性の影響で呼吸困難が生じ魚類が死亡する可能性がある。

成分の環境影響情報

生体毒性

可塑剤(非公開)	
生体毒性	魚類(ファットヘッドミノール)LC50(96h)30mg/L(SIDS)
	甲殻類(オオミジンコ)LC50(96h)≥95mg/L(SIDS)
	藻類(イカダモ)EC50(72hr)18.4mg/L、NOEC(72hr)3.28mg/L(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
生体毒性	魚類(ブルーギル)LC50(96h)15400mg/L(SIDS)
	魚類(ファットヘッドミノール)LC50(96hr)28200mg/L(SIDS)
	甲殻類(ブラインシュリンプ)EC50(96hr)1340mg/L(EHC)
	甲殻類(ブラインシュリンプ)EC50(24hr)900.73mg/L(EHC)
有機窒素硫黄系化合物	
生体毒性	TLm(48時間)6.4ppm(ヒメダカ)(推定値)

残留性・分解性

可塑剤(非公開)	
残留性・分解性	生分解性試験、易分解性でない(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
残留性・分解性	分解性試験 易分解性でない(SIDS)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
残留性・分解性	BOD負荷 0.07g/g COD負荷 0.7g/g

生体蓄積性

可塑剤(非公開)	
生体蓄積性	log Pow=3.47(25°C)(SIDS)
メタノール(67-56-1)	
生体蓄積性	BCF=0.01~0.51、0.2(計算値)(EHC)

土壤中の移動性

メタノール(67-56-1)	
他の有害影響	Koc=1(推算値)(SIDS)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、

かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

【残余廃棄物】

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を
十分告知の上処理を委託する。

【汚染容器及び包装】

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の
基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告

国連番号

品名(国連輸送名)

国連分類

容器等級

MARPOL73/78附属書II及びIBCコード

によるばら積み輸送される液体物質
輸送又は輸送に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

該当しない。

該当しない。

該当しない。

該当しない。

該当しない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように
積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

該当しない。

15. 適用法令

該当法令の名称及び

その法令に基づく規制に関する情報

【化審法】

優先評価化学物質(法第2条第5項)

メタノール

【労働安全衛生法】

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)

メタノール

名称等を表示すべき危険有害物(法第57条第1項、施行令第18条別表第9)

メタノール、鉱油、酸化チタン(IV)

名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条別表第9)

メタノール(政令番号:560)酸化チタン(IV)

【毒物及び劇物取締法】

該当しない

【水質汚濁防止法】

該当しない

【消防法】

該当しない(非危険物)

【大気汚染防止法】

特定物質(法第17条第1項、政令第10条)

メタノール

揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

揮発性有機化合物

【特定有害廃棄物輸入規制法(バーゼル法)】

廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

イに掲げる有機溶剤を含む物

【化学物質排出把握管理促進法】(PRTR法)

該当しない

【船舶安全法】

有機窒素硫黄系化合物 有害性物質 分類9

【航空法】

有機窒素硫黄系化合物 その他の有害物件 分類9

【海洋汚染防止法】

石灰石 施工令別表第1の2 有害でない物質(10)炭酸カルシウム

有害液体物質(Y類物質)(施工令別表第1)

メチルアルコール

【輸出入貿易管理令(キャッチオール規制)】

HSコード2521.00-000 石灰石

HSコード2836.50-000 炭酸カルシウム

【じん肺法】

石灰石 法第2条、施工規則第2条別表粉じん作業

【労働基準法】

メチルアルコール 疾病化学物質(法第75条第2項、施工規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

本データシートは、日本産業規格JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。